

第 60 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

はじめに

技術概要に準拠するため、左官職種競技はモジュール化されており、3つのモジュールが含まれています。各モジュールは個別に評価されるため、あるモジュールでミスがあっても、別のモジュールでポイントが失われることはありません。

- ・第 60 回競技課題では、一部の寸法を競技 1 日目に変更いたします。
- ・各部の位置を示す非公表寸法は、競技 1 日目の課題説明の際、実施図面を配布する形で公表します。

1. 競技時間

標準時間 9 時間 30 分 ※休息时间含まれず

- ・モジュール 1 = 6 時間 30 分 打切時間 6 時間 40 分
- ・モジュール 2 = 1 時間 30 分 打切時間 1 時間 40 分
- ・モジュール 3 = 1 時間 30 分 打切時間 1 時間 40 分

2. 作業説明

別紙 1 のとおり

3. 仕様（モジュール別、作業内容および指示事項）

別紙 2・3 のとおり

4. 注意事項

別紙 4 のとおり

5. 支給材料および部材

別紙 5 のとおり

6. 持参工具

別紙 6 のとおり

作業説明

1. 課題の制作は、モジュール形式とする。3工程に分割した作業を決められた時間内に行う。
2. 作業台及び作業エリアは、常に整理整頓する。
3. 使用工具及び施工法は、指示事項を除き自由選択とする。スケール、差し金等の計測用具は、J I S規格品とする。
4. 支給された材料を確認する。異常のあるときは競技前に申し出る。
5. 持参工具の展開は、会場下見の時に行う（付添人も可）。
6. 引き型は、図面寸法を採用する。
7. モールディングの張り付け材料は、自由とする。ビス止め併用可（有機接着剤は禁止）。
8. 張り付けたモールディングと壁の間は、すき間なく仕上げる。
9. 置引き作業時における引き型の洗水容器の容量は、最小限度にとどめる。
10. 石膏ボード切断・加工及び置引き等の作業は、備え付けの作業台を使用する。板の継ぎ足しに関しては、持ち込み不可とする。
11. 軽量鉄骨加工及び石膏ボード切断時は、安全のため切創防止手袋を着用する。
12. 課題の下地は、ベベルボード(9.5 mm)の表面にシート貼りしたものとする。寸法は、1,820 mm×1,820 mmとする。
13. 作業エリアの床養生は、主催者側で行う。
14. 制作したモールディングの切断は、箱定木（留め型）の使用を可とする。指定寸法に合わせて、両側を切断できるように造った箱定木の使用は、禁止する。

別紙 2

仕様（モジュール別、作業内容と説明）

モジュール 1

施工日：1 日目「11 月 5 日（土）」

施工時間：6 時間 30 分（8:50~12:00）（13:00~16:40）

（午前、午後ともに休息時間を各 10 分間取ること）

作業内容：・各種墨出し

- ・ふかし壁の軽量鉄骨加工・組み立て、石膏ボード加工・取付け
- ・厚塗り部（ふかし壁:内壁とみなす）のコーナ一定木取付け、中塗り
- ・薄塗り部（一般部：外壁とみなす）のコーナータープ張り付け、下塗り
- ・モルディング A 引き型鉄板加工、モルディング A・B 制作（石膏置引き）
- ・モルディング A（額縁）・B（面台）の取付け
- ・パテ部の仕上げ

作業説明：・中心墨、陸墨は、各自で出す。陸墨は、課題中心部の床から 1,000 mm 上がりの位置を基準とする。ふかし壁を制作するのに必要な墨、モルディング A（額縁）・B（面台）の取付け墨は、中心墨、陸墨から追い出す。

- ・ふかし壁は、軽量鉄骨（ランナー、スタッド）を組み立て、石膏ボードを取付ける。
- ・軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビスの間隔は、200 mm 以内とする。
- ・厚塗り部は、出角にコーナ一定木（3 K）を中塗り墨に合わせて固定し、平らに中塗りをする。
- ・薄塗り部は、ボード小口にコーナータープを張り付け、平らに下塗りをする。
- ・モルディング A の引き型は、方眼紙と鉄板を用いて制作後、持参した木型に取付けて完成させる。B の引き型は、完成したものを持参してよい。
- ・モルディング A・B は、焼石膏を用いて置引きで制作する。
- ・置引きの下地に使用する発泡スチロール(1,820×450×15)は、支給する。
発泡スチロールは、必要な場合使用してもよい（持ち込み不可）。
- ・仕上がったモルディング A（額縁）・B（面台）は、切断加工し取付ける。
接合部は、補修する。
- ・パテ部は、パテ材を塗り付けた後に、サンドペーパーをかけて平らに仕上げる。

別紙 3

モジュール 2

本モジュールは、スピード競技となる。

施工日：2 日目「11 月 6 日（日）」

施工時間：1 時間 30 分(8:50~10:20)

作業内容：・厚塗り部の上塗り
・モールディング A（上部）・モールディング B（巾木）の取付け

作業説明：・厚塗り部は、支給した上塗り材を全面に塗り付けた後、鋺を使い模様付け仕上げとする。

・モールディング取付け墨を出す。

・モールディング A（上部）・モールディング B（巾木）は、切断加工し墨に合わせて取付ける。
接合部は、補修する。

モジュール 3

施工日：2 日目「11 月 6 日（日）」

施工時間：1 時間 30 分(10:40~12:10)

作業内容：・薄塗り部の上塗り
・自由課題仕上げ

作業説明：・薄塗り部は、支給した上塗り材を 2 回塗りし、水引き具合を見て鋺押さえ仕上げとする。

・モールディング A（額縁）の内側は自由課題とし、左官材料で仕上げる。
自由課題の材料は、各自持参する。

別紙 4

注意事項

- 1 競技中、工具の貸し借りは禁止する。
- 2 丸ノコの使用を禁止する。ジグソー・充電ドライバー・マルチツールの使用は可。
- 3 安全規則を守る。ケガをした選手は、競技委員が協議を行い、対応を決定する。
- 4 休息时间及び作業終了後は、速やかに参加票を係の者に提出する。
- 5 作業台は、型枠用として市販されているコンクリート型枠用塗装合板を使用する(1,800×900×12)。
- 6 置引きに使用するアルミ製定木・走り定木は、支給する。持ち込み不可。
墨出し、その他に使用する定木は、持ち込み可とする。
(あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は、禁止する)
- 7 軽量鉄骨組み立てに使用するビスは、各自持参する。
- 8 支給したランナーは、各自ハサミで切断加工して使用する。
- 9 スタッド固定用のアングルピースは、使用・不使用どちらでも可とする。
使用するときは、各自持参する。
- 10 ランナー・スタッドは、ビス止めとする。
- 11 モジュール 1・2・3 で使用する塗り材料は、当日係員が支給する。
- 12 置引きの引き型は、1日目の作業終了後、すべて提出する。
- 13 時間超過や仕様誤り及び作業説明・注意事項に関して違反した場合は、減点する。

公表 別紙5

支給材料・部材

番号	品名	規格	数量	備考
1	鉄板	200 mm×100 mm×0.4mm	1 枚	引き型制作
2	方眼紙	A4 1 mm方眼	1 枚	引き型制作
3	焼石膏	吉野石膏 桜印 A 級 20 kg	2 袋	モールドイング制作
4	Uトップ	吉野石膏 (株) 中塗り	適量	厚塗り部 中塗り
5	けいそうモダンコート内装	四国化成工業 (株) 上塗り SK セレクトカラー 386	適量	厚塗り部 上塗り
6	マルチベース	日本プラスター (株) 下塗り	適量	薄塗り部 下塗り
7	トラッド	日本プラスター (株) 上塗り	適量	薄塗り部 上塗り
8	タイガージョイントセメント (ペースト)	吉野石膏 (株)	適量	パテ仕上げ
9	ニューツーウェーコーナー定木	フクビ化学工業 (株) 3K 1,820 mm	4 本	厚塗り部 角用
10	コーナー補強テープ	四国化成工業 (株) 50 mm幅 3,000 mm	1 本	薄塗り部 ボード小口用
11	タイガーボード (ベベルボード)	吉野石膏 (株) 1,820 mm×910 mm×9.5 mm	1 枚	ふかし壁制作
12	アルミ製定木	1,800 mm×60 mm×25 mm	2 本	置引き作業
13	走り定木	3,640 mm×36 mm×12 mm	1 本	置引き作業 その他
14	ランナー	(株)桐井製作所 同等品 壁下地材 SQ - ランナー40 1,800 mm	3 本	ふかし壁軽量鉄骨材料
15	スタッド	(株)桐井製作所 同等品 壁下地材 SQ - BAR 4050 1,795 mm	2 本	ふかし壁軽量鉄骨材料
		SQ - BAR 4050 510 mm	1 本	
		SQ - BAR 4050 310 mm	1 本	
		SQ - BAR 4050 290 mm	1 本	
16	発泡スチロール	1,800 mm×450 mm×15 mm	1 枚	置引き中込め用
17	スタイロフォーム	1,800 mm×900 mm×50 mm	1 枚	ジグソー切断用クッション
18	取り舟	小	1 個	残土用容器
19	バケツ	18ℓ	3 個	プラスチック製
20	作業台	1,800 mm×900 mm	1 台	置引き・各種作業用
21	置き台	1,800 mm×900 mm	1 台	モールドイング保管用

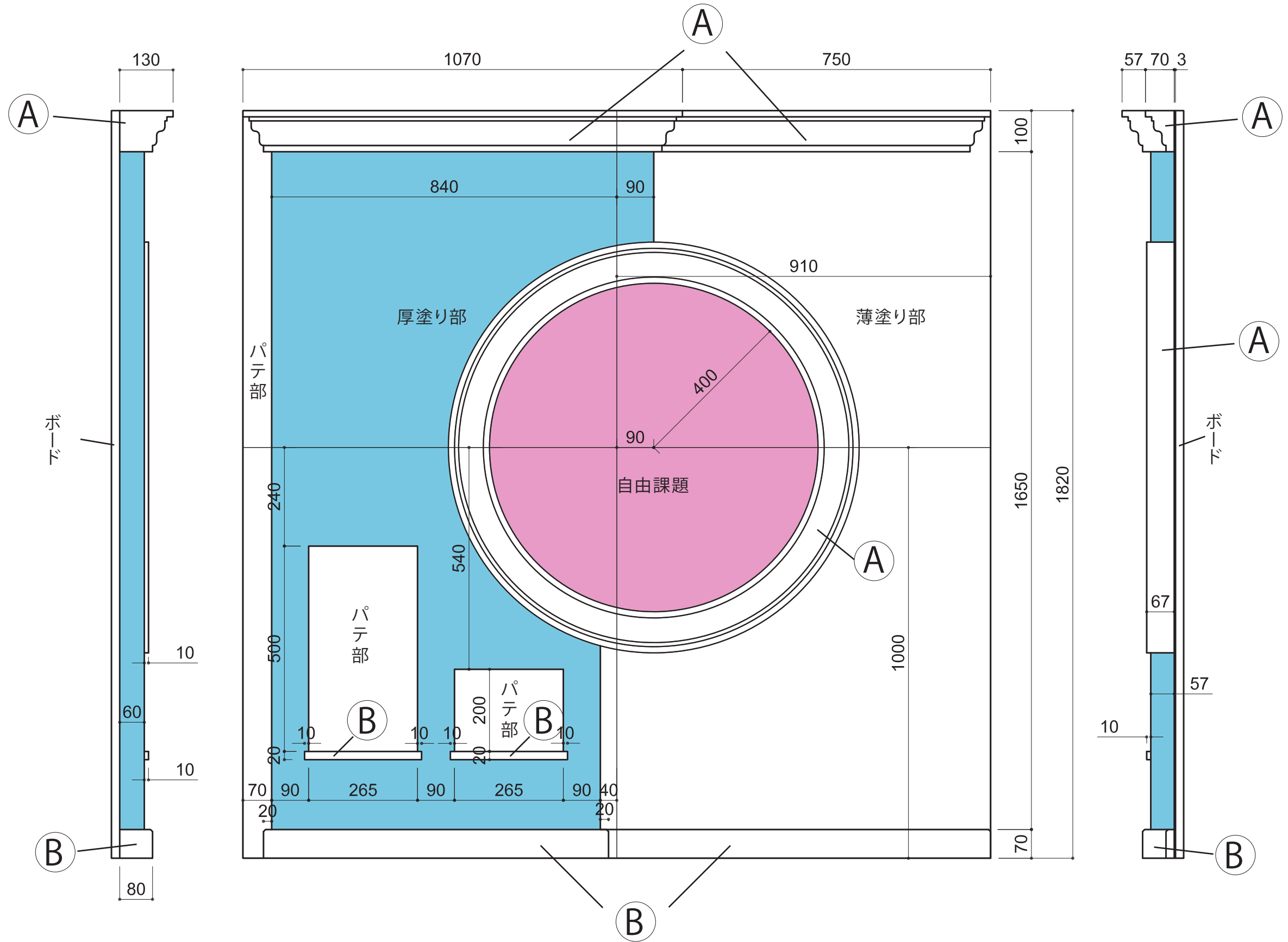
別紙 6

第 60 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

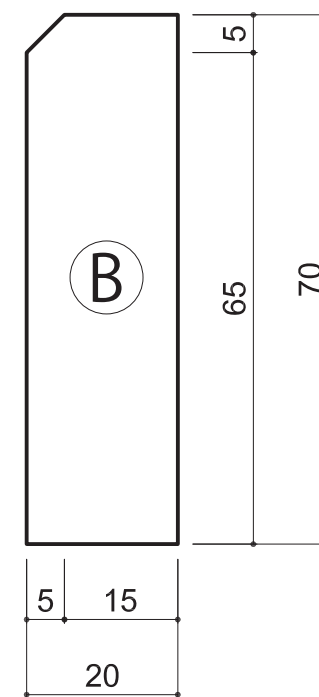
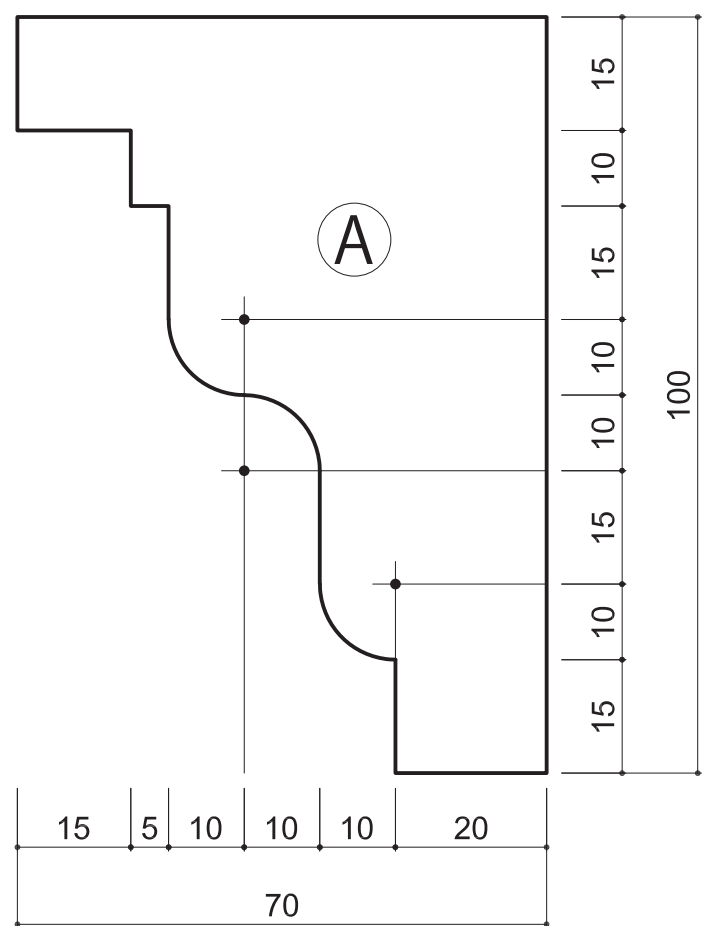
番号	品名	規格	数量	備考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	
2	工具箱	大きさは 1 m ³ 前後	1 個	
3	モールディング張付け材		適量	有機接着剤不可
4	自由課題仕上げ材	左官材料	適量	
5	養生テープ	市販品	適量	
6	保護用手袋	切創防止手袋	1 枚	軽鉄・ボード切断時着用
7	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参すること
8	パテ材保管容器	20前後容器	1 個	材料配布用

※工具箱の大きさは 1 m³前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は、協議の上減点とする。



左官職種 競技課題図



左官職種 置き引き断面図

公表

第60回技能五輪全国大会左官職種採点基準表

項目 区分	採点基準	配点
施工法	置引き 墨出し モジュール1 モジュール3	36
精度	寸法 角度 水平 垂直 平面 接合 引き 法 度 度 度 度 度 部 型	47
作業態度	整理整頓 手ぎわ 安全作業	7
外観	外観	10
減点	不安全作業 仕様誤り 不良施工 残土 時間超過	適宜
合計		100

※ 採点項目に対応する採点箇所は別途定め、公表はしないこととする。

NO.	質問内容	回答内容
Q1	<p><持参工具> 使用工具について、ルーターは使用可ですか？</p>	使用不可です。
Q2	<p><別紙2 モジュール1 作業説明 第5項目> ボード小口に使用するコーナーテープとはどんな物ですか？ 又、持ち込みですか？</p>	<p>四国化成工業の「コーナー補強テープ」という商品名で販売しているものです。WEBカタログでサンプル画像が確認できます。 本番は他材料と同様に支給します。「別紙5 支給材料一覧」をご参照ください。</p>
Q3	<p><別紙1 作業説明 14項目> 制作したモールディングの切断する為の、寸法に合わせて両側が切断出来る物は不可と有りますが、詳しく教えてください。 例えば、複数持ち込みは可能でしょうか？片側切断であればどんな物でも大丈夫ですか？</p>	切断寸法に合わせた箱定木は不可です。片側・両側はどちらでもかまいません。道具箱に入れば複数個の持ち込みも可能です。
Q4	<p><別紙3 2日目について> 厚塗り部上塗りを先にしてしまうと、 ・モールディングの墨が出せなくなる。 ・上塗りが乾かない場合モールディング取り付けられなくなる。 という問題が発生するように思います。 厚塗り部上塗り前に上塗り分ふかして、モールディングA（上部）モールディングB（巾木）を先に取り付けていいでしょうか。 又、モールディングA（額縁）は3.4等分で作って取り付けが良いですか？</p>	<p>ふかし壁上塗りは、モールディングA（上部）モールディングB（巾木）を取付けた、先でも、後でもかまいません。別紙3の説明通り墨だしを行ってください。 モールディングA（額縁）は、何等分でも取り付けても、かまいません。</p>
Q5	<p><競技課題図> パテ部仕上げの開口幅についてです。 角部分から90mm、開口小口90mmの寸法になっていますが、仕上げ塗り2.5mm珪藻モダンコート、下地塗り5mm（Uトップ）石膏ボード厚9.5mmですと、85mmになってしまうかと思えます。 90mmにするためには、側面のボードが12.5mmだと合うかと思えますが、どのような計算ですか？</p>	<p>内装モダンコート・Uトップの塗り厚は、決まっています。 12.5mmのボードは、支給材料・部材一覧表の中にはありませんので、支給材料・部材の中で、図面寸法になるように各自考えてください。</p>
Q6	<p><支給材料について> 当日支給されるスタッドで「SQ-BAR 4050 1,795mm」とありますが、組立をすると、上の部分が20mm飛び出る仕上げとなってしまいます。 この仕上がりで完成と理解してよろしいのでしょうか？もし、違うようであれば具体的に教えてください。</p>	<p>支給材料・部材を使用して、図面寸法になるように各自考えてください。 具体的に答えることは出来ません。</p>
Q7	<p><別紙2 作業説明 6項目について> 「モールディングAの挽き型は、方眼紙と鉄板を用いて制作後、持参した木型に取り付けて完成させる。」とありますが、円の部分を鉄板を取り付けた状態で用意したものを持ち込むことは可能ですか？</p>	鉄板を取り付けた引き型の持ち込みは不可です。

NO.	質問内容	回答内容
Q8	<p><モジュール1の各種墨出しについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心墨を出すときにボード自体が1mm 2mm斜めでも斜めで墨出しするのでしょうか？ ・陸墨も同様に、課題中心部の土台が1mm 2mm水平じゃなくても土台中心から墨出しするのでしょうか？ ・墨出しに使用したいと思っている2mの水平器は持ち込み可能でしょうか？ <p>公表された資料には（墨出しに使用する定木は持ち込み可）と記載されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心墨は真っ直ぐに出してください。 ・陸墨は課題中心部の床から1,000mm上がりで水平に出してください。 ・水平器は持ち込み可です。
Q9	<ul style="list-style-type: none"> ・課題シート貼りについてシート貼りは4日左官職種開会式の後に各自貼るのでしょうか？ <p>モジュール1の作業内容に含まれているのでしょうか？</p>	シートは運営で貼り付けますので、貼った状態で競技開始となります。
Q10	<ul style="list-style-type: none"> ・モジュール1.2.3で使用する塗り材料は当日係員が支給すると記載されていますが、材料の量などは各自伝えるのでしょうか？ 	塗り材料の量は、課題に必要な規定量を配付します。
Q11	自由課題の仕上げについて 下塗りや前段取りは1日目から始めてもよろしいのでしょうか？	自由課題は、モジュール3の時間に作業してください。
Q12	持参工具について チリふき用バケツ・石膏練り用バケツ・洗い用バケツ等は、持ち込み可能でしょうか？ また、持ち込んでよろしければ、規格サイズ等教えてください。	道具箱に入れば、サイズに関わらず何個持ち込んでも構いません。
Q13	課題図にあるモールディングAの上部分の天端仕上げ有無を教えてください。	モールディングAの上部天端は、焼石膏です。
Q14	今回のモールディング課題が円形であり、また、身長による有利不利を無くすために、選手の身長に合わせた作業台の高さ設定と調整が必須と考えていますが、作業台の確認、高さ調整などは、どのタイミングで、誰が行なうのか教えてください。	11/4金の架台抽選後、競技エリアが確定しますので、選手・付き添いの方で調整をしていただくことが可能です。 なお、三つの密を避けるため、選手一人につき、付き添い一人まででお願いいたします。
Q15	一部寸法変更があるの思うのですが、引き型鉄板寸法変更の場合木型はどうしたらよいのでしょうか？木型は資料5の通り加工して持参する予定です。	引き型の変更は、ありません。
Q16	支給材料バケツ1803個は水用のバケツでしょうか？また、水の量は決まっているのでしょうか？	3個のうち、2個は水用、1個は材料支給用です。 水はなくなり次第支給します。
Q17	モジュール2については、モールディング取り付け上塗り分ふかして取り付けようと思うのですが、モールディングの下にふかすためのクサビは入れても大丈夫でしょうか？	問題ありません。
Q18	支給材料の方は自分で練るのでしょうか？	運営側で練って配付します。
Q19	支給材料を主催者側が練る場合は、硬さの指定はできますか？	指定はできませんので、各自で調節してください。

NO.	質問内容	回答内容
Q20	パテ部の厚みに指定はありますか？	サンドペーパーをかけて仕上げられる厚みにしてください。
Q21	貼り付けたモールディングは隙間も埋めると思いますが、支給材料を塗って隠れるところも埋めるのでしょうか？	隠れるところも埋めてください。
Q22	モールディングA上部天端を、ベニヤでビス固定してもいいですか？	ベニヤは不可ですが、ビスは可です。
Q23	漆喰シートはボード貼り付け後徐々に浮いて空気が入ってしますので大丈夫でしょうか？	大会本番用器材と同じ材質の架台でテストしましたが、浮いてくるようなことはありませんでした。
Q24	置き引き用の引き型の材質について指定はありますか？	引き型は、木型を使用してください。 Rを引くときの芯については制限はありません。
Q25	自由課題において石膏装飾を考えていますが、型を持ち込み、当日の流し込みでしたらよろしいでしょうか？	自由課題に使用する左官材料及びそれを使用するための引き型、道具類及び型材の持ち込みは可とします。